

国内研修

学生自身がテーマを決めてプログラムを構築

日本国内の福祉、地域づくり、心理の現状に接する「国内研修」には決まった訪問先や目的はありません。この研修は、学生自身がテーマを決めてプログラムを作り、そのプランに奨励金を給付する現代福祉学部独自の制度です。学生一人ひとりがかつ関心や問題意識にそって、自らが企画・立案・実施し、終了後に報告書を完成させ、今後の学習や研究に生かします。



これまでに実施された主な訪問先と研修テーマ(一部)

- 北海道 厚沢部町**
地域おこし協力隊の様々な活動
「素敵な過疎づくり」活動って知ってますか?
継続して行っている被災地支援。今回は夏祭り!
- 秋田県 藤里町**
継続して行うグリーンツーリズムを通じて学部の三本柱を学ぶ
- 長野県 小布施町**
市民の力を生かした社会教育とまちづくり
- 岐阜県 高山市**
世界遺産～住民の誇りと苦悩、伝統文化へ～
- 岩手県 釜石市**
仮設住宅住民と大学生の協働による交流企画運営事業の実践
- 東京都 新宿区**
夜の街歩きスタディツアー
- 京都府 相楽郡**
文化財の多い京都での景観から考えるまちづくり
- 高知県 黒潮町**
フィールドミュージアム「砂浜美術館」から地域創造を学ぶ
- 大分県 由布市**
地域のつながりと心のつながり
人口122名の集落でムラビジネスを肌で感じて来ました
- 宮崎県 高千穂町**
農村が人を呼ぶーグリーンツーリズムのパワーー
- 広島県 竹原市本町**
江戸後期の建造物群保存地区竹原に学ぶ町並み保存
原爆に破壊されなかった江戸時代の町並み保存について学びました
- 鹿児島県 屋久島町**
口永良部諸島の魅力

海外研修

Well-being先進国の現場を自らの目で見て、体験する旅

現代福祉学部2年生を対象に、夏休み期間に実施される「海外研修」は、現代福祉学部独自の研修制度です。Well-beingの先進国スウェーデンを中心にドイツ、フランスなど年ごとに選定された場所で、海外の福祉や地域づくり、心理に関わる施設を訪れ、各政策の考え方や施設運営等を学びます。毎年、選抜により30名が参加し、参加者へは費用を軽減するため奨励金(1人最大20万円※)も給付されます。さらに、現地の学生との交流会など、充実した研修プログラムとサポートのなかで、現代福祉(Well-being)への理解と学びをより深めていきます。

※2017年度実績



これまでに実施された主な訪問先(2012~2016)

ドイツ (2012, 2015, 2016)
主な訪問先(フライブルク、ベルリン)
●日独センター
●若者職業訓練センター
●多世代ハウス
●強制収容所 など

現地の幅広い世代との意見交換もあり、日本との違いを浮き彫りにしました



スウェーデン (2012~2016)
主な訪問先(ストックホルム)
●障がい者施設
●高齢者施設 ●保育園 ●就労支援施設
●青少年センター など

視察以外にも現地の大学生との交流があります



フランス (2012, 2014)
主な訪問先(パリ、ストラスブール、アルザス)
●市役所 ●トラム乗車
●高齢者施設
●若年者向け宿泊施設 など

福祉、都市交通などの政策事例を実体験も交え、視察しました



ポーランド (2013)
主な訪問先(クラクフ、ワルシャワ)
●クラクフ旧市街
●アウシュビッツ強制収容所
●孤児の家 など

ホロコーストの実際や史跡に触れ、学生の視野が広がりました



国際的なコミュニケーション能力を身につける

外国語教育

現代福祉学部では、2018年度より英語を必修とし、中国語などの選択科目を用意します。実践的な学習のなかで、読解力、意思伝達能力を磨き、国際的なコミュニケーションをはかることができる人材を育成していきます。

インテンシヴ・イングリッシュ

国際的な職業に就くことを希望する学生や、留学を目指す学生を対象に、TOEFL®のスコアをアップさせることを目的とした授業です。ネイティブ・スピーカーの講師によってすべて英語で授業が進められ、英語に対する苦手意識を取り除くとともに、数値で学習効果をはっきりとわかるようにする授業です(選抜制)。

